

# 京都の学生が PR 動画製作

2022/6/6 13:49 毎日新聞@大学

37 の大学・短大で約 15 万人の学生が学んでいるにもかかわらず、卒業後は多数が他府県に転居してしまう課題を抱える京都市。古都で学ぶ学生自身が課題解決にチャレンジした。



成果報告会で関係者とともに記念撮影に臨む京都市の大学生

たち=学生情報センター提供

京都市、東急不動産ホールディングス、学生情報センターの 3 者による連携協定に基づき、2021 年 11 月から 4 カ月間、京都の大学生 33 人がワークショップを開催し、PR 動画を製作。5 月 26 日に京都市役所で開かれた「学生とつくるまちの未来プロジェクト」成果報告会で披露された。

動画は「京都ステーション～旅する京都から『暮らす』京都へ～」をテーマに約 6 分半にまとめられた。京都の暮らしやすさをアピールし、卒業後も京都で働く日常をイメージさせる内容で、企画から絵コンテの作成などを動画のプロから学びながら製作したという。参加した学生の代表は「京都の魅力を再確認できた」「他の大学と交流できた」などと感想を発表した。

報告会に出席した京都市の門川大作市長は「見事な動画の出来栄えに感謝する。京都を観光都市から、住むまちにしたい」とあいさつした。ワークショップの学生募集など運営面を担った学生情報センターでは「学生が地域課題に取り組む有意義な活動ができた。継続して京都の学生を支援していきたい」としている。